



第3回 通常総会記念講演会

日時 / 平成30年6月7日(木)16:00～
会場 / ホテルナゴヤキャッスル 2F「天守の間」

報道からみた これからの日本



講師 /
時事通信社 特別解説委員
田崎史郎氏



2019年は大変な年

北朝鮮は、これからは経済が重要と考えていると思います。それには日本のお金が必要ですが、日本としては、拉致問題の解決なしに、お金は出さないのが基本路線です。

いま朝鮮半島の情勢が激しく動いているときに、トランプ氏の相談相手が安倍氏であるのはプラスだと思います。

「働き方改革」法案は、皆様に大きな影響を及ぼします。具体的には、正規社員と非正規社員の賃金格差が小さくなります。勤続年数や能力が同一なら同一の賃金を払わなければなりません。パートタイム労働者の不満は、低賃金とボーナスがないことや、慶弔休暇が認められず欠勤扱いになることです。これからは正規社員と同じ待遇をすることになります。賃金が低いと消費に回りません。非正規労働者の賃金の高上げと、もうひとつは人手不足

対策です。生産労働人口の減少の対応は外国人労働者を雇い入れることです。もうひとつは主婦と60歳以上の男女が働くようになれば、人を確保できます。そのための働き方改革法案です。

来年は日本にとって大変な年になります。天皇陛下が退位され、5月に皇太子が即位、3月に新しい元号の発表、そしてアフリカの国々の首脳が集まるアフリカ開発会議(TICAD)、大阪での主要20カ国地域首脳会議(G20サミット)、7月の参院選、ラグビーのワールドカップなど、政治的にも外交的にも重要なイベントが続きます。

政治は川の流れです。いつも変化していて、常に流れています。その変化を見るのが大事です。

※この記事は平成30年6月7日(木)の講演の要約です。
文責 / 公益社団法人 名古屋西法人会

